



vol.629

目次

- 1. 第43回全国土地改良大会群馬大会が開催される (2)
- 2. 進藤金日子顧問と県内水土里ネットが意見交換会を実施..... (4)
- 3. 宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに水土里ネット宮崎が宮崎県に要請活動を実施..... (6)
- 4. 「天岩戸土地改良区」と「上野地区土地改良区」
2つの土地改良区が設立へ向け合併予備契約書調印式を実施 (7)
- 5. 「水土里ネットへの女性参画推進」について(お知らせ) (7)
- 6. 令和3年度複式簿記導入促進特別研修会が開催される (8)



天神ダム管理所での施設見学会の様子（宮崎市立瓜生野小学校）

この取り組みは、本会が「将来の農業を担う人材育成事業（事業主体：宮崎県）」を活用し実施しているもので、今年度は、県内16の小学校が取り組む農業体験学習や施設見学会の活動を支援している。

第43回全国土地改良大会群馬大会が開催される ～ 鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて ～

去る10月6日、全国水土里ネット（二階俊博会長）と水土里ネット群馬（熊川栄会長）は、群馬県のGメッセ群馬にて、第43回全国土地改良大会群馬大会を開催した。



大会旗入場



水土里ネット群馬 熊川会長



全国水土里ネット 二階会長

大会は、農業農村整備事業の役割を広くアピールすることを目的に毎年全国持ち回りで開催されており、群馬県では初めての開催となった。例年、会場には全国から多くの農業農村整備事業関係者が訪れ、盛大に開催されているが、今回は新型コロナウイルス感染予防対策で入場を群馬県内の関係者のみに制限され、大会の様子はオンラインにより生配信された。

式典では、熊川会長が開会挨拶した後、二階会長が主催者を代表して「今大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大が今日に至ってもなお十分に収束することがなく、止む無くオンラインで開催という形になりました。熊川会長を先頭に足掛け3年に渡って準備を進めていただいたことに感謝します。国会では、進藤金日子顧問と宮崎雅夫顧問が土地改良の先頭に立ち、今後も農家の方々が期待をもって働いていただけるような環境を作るために日夜懸命の努力を重ねて頂いております。闘う土地改良はこれからも続きます。今後も皆様からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。」と挨拶した。

続いて山本一太群馬県知事、富岡賢治高崎市長が歓迎のことは、来賓の金子原二郎農林水産大臣（代読：安部伸治農林水産省農村振興局次長）、小淵優子衆議院議員、宮崎雅夫都道府県水土里ネット会長会議顧問がそれぞれ祝辞を述べた。

引き続き土地改良事業功績者表彰が執り行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰45名がそれぞれ表彰された。本県からは、福井太水土里ネット一ツ瀬川筋理事長が農林水産省農村振興局長表彰、有留千文前水土里ネット漆野原理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰をそれぞれ受賞した。

その後、安部伸治農林水産省農村振興局次長と進藤金日子顧問がそれぞれ講演を行った。



山本群馬県知事



安部農村振興局次長



小淵衆議院議員

大会宣言では、群馬県立吾妻中央高等学校の生徒が「先人たちから受け継いだ農村の宝を後世に引き継いでいきます」と元気よく宣言文を読み上げた。

また、今回の大会旗引継ぎは会場に一同が集えなかったことから、群馬県と全国水土里ネットと次期開催県となる沖縄県をオンラインネットワークで繋ぎ、大会旗に代えて目録を受け渡す形で執り行われた。

最後に、古謝景春水土里ネット沖縄会長の次期開催県挨拶に続き、山本龍水土里ネット群馬副会長（前橋市長）が閉会挨拶し、大会は盛会裡に終了した。



都道府県水土里ネット会長会議
進藤顧問



都道府県水土里ネット会長会議
宮崎顧問



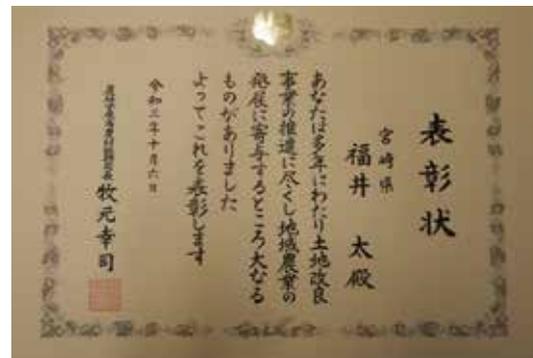
大会旗引継ぎの様子
知念武水土里ネットおきなわ専務理事

本県の土地改良事業功労者表彰受賞者

農林水産省農村振興局長表彰



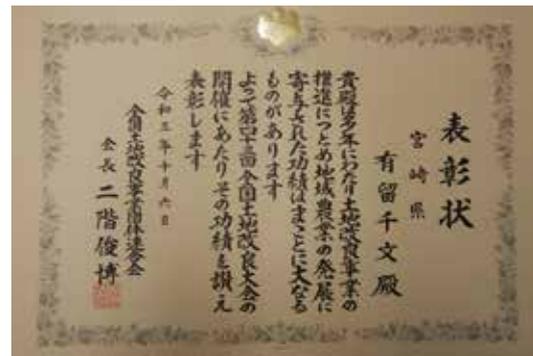
宮崎県
ふくい ぶとし
福井 太
一ツ瀬川筋土地改良区 理事長



全国土地改良事業団体連合会会長表彰



宮崎県
ありどめ ちふみ
有留 千文
前 漆野原土地改良区 理事長



進藤金日子顧問と県内水土里ネットが意見交換会を実施

去る8月8日から10日、進藤金日子都道府県水土里ネット会長会議顧問（参議院議員）と県内水土里ネットは、意見交換会を開催した。

各会場では、はじめに進藤顧問が国政報告を行い、引き続き意見交換会が行われた。会場では、「現場の声を国政へ届けて欲しい」と各々の農業・農村地域が抱える不安や困りごとに関する質問や要望等が次々に上げられ、非常に有意義な会となった。また、その場で回答出来なかった案件について進藤顧問は後日、直接説明や各関係機関を通して回答するなど、きめ細やかに対応している。

●南那珂管内：日南市（8月8日 11:00～）



※管内水土里ネットからの主な質問及び要望

- ・多面的機能支払交付金の予算確保について
- ・土地持ち非農家混在によるほ場整備の困難性と制度の要件緩和について
- ・米価下落への不安など

●北諸県管内：都城市（8月8日 14:30～）



※管内水土里ネットからの主な質問及び要望

- ・農地中間管理機構集積協力金交付事業の継続について
- ・不在地主過多によるほ場整備事業の同意取得問題や排水受益転用による影響について

●西諸県管内：小林市（8月8日 17:30～）



※管内水土里ネットからの主な質問及び要望

- ・廃止用水路の処理問題やほ場整備における相続未登記農地の問題について
- ・小水力発電認可の遅延について

●中部管内：宮崎市（8月9日 10:00～）



※管内水土里ネットからの主な質問及び要望

- ・営農の変化等による水不足について
- ・小水力発電のFIT(固定価格買取制度)の継続性の課題について

●児湯管内：高鍋町（8月9日 13:00～）



※管内水土里ネットからの主な質問及び要望

- ・未相続登記農地の問題やほ場整備と一体的な農業用ハウスの撤去新設の問題について
- ・さつまいも基腐病の問題について
- ・農業の後継者不足対策の緊急性やTMR（混合飼料）センターへの公庫資金融資の課題について

●東臼杵管内：延岡市（8月9日 15:00～）



※管内水土里ネットからの主な質問及び要望

- ・小規模土地改良区解散の問題や未相続登記農地の問題について
- ・小規模土地改良区の複式簿記移行に関する困難性について

●西臼杵管内：高千穂町（8月10日 12:30～）



※管内水土里ネットからの主な質問及び要望

- ・合併土地改良区への支援強化の必要性や多面的機能支払交付金の各種要件の緩和要請について

宮崎県農業農村整備事業推進委員会並びに 水土里ネット宮崎が宮崎県に要請活動を実施

去る9月1日、宮崎県農業農村整備事業推進委員会（宮原義久委員長）と水土里ネット宮崎（丸目賢一会長）は、令和4年度当初予算の確保について宮崎県へ要請活動を行った。今回の要請は、本県が「まん延防止等重点措置」区域に指定されたことに伴い、対面方式での要請は牛谷良夫宮崎県農政水産部長のみに最小限の人員で行われた。また、河野俊嗣宮崎県知事と中野一則宮崎県議会議長への要請書提出を、牛谷部長へ依頼した。

●宮崎県の農業の実情と課題を踏まえ、事業推進と予算確保を要請

委員会及び水土里ネット宮崎は、宮崎県農政水産部を訪問して要請書と事業効果資料を手渡し、県農業農村整備事業当初予算を確保すること、並びに国への農業農村整備事業予算確保と本県への重点配分、農業農村整備事業に係る技術力向上対策、土地改良区の体制強化について強く要請した。

続いて、宮下敦典水土里ネット宮崎常務理事が事業効果資料に基づき、事業実施によって収益向上を実現した事例の紹介や近年頻発している自然災害への対応、老朽化している施設の維持管理の必要性等について説明し、事業推進並びに予算確保が重要であると訴えた。

●要請に対し牛谷部長からの回答

農業農村整備事業の必要性については十分理解している。当初予算の確保に努力するとともに、国に対しても積極的に要求していくので、後押しをお願いしたい。

また、来年度から導入される貸借対照表の作成など、土地改良区が直面する課題も水土里ネット宮崎の協力により着実に前進している。今後は、女性理事の登用や合併など組織体制の強化に向けた取り組みも必要となるため、引き続き力添えを頂きたい。



牛谷部長への要請

【要請事項】

- 一、農業農村整備事業の計画的な推進のため、令和4年度県当初予算の十分な確保を図ること
- 一、国に対し、農業農村整備事業予算の確保と本県への重点配分について強く働きかけること
- 一、農業農村整備事業の積極的な推進に不可欠な技術力の維持・向上を図るため、県内土地改良関係者の技術力向上対策を積極的に支援すること
- 一、土地改良区の体制強化に資するため、女性理事登用の促進や、複式簿記に係る巡回指導の継続など、指導・支援の充実を図ること

「天岩戸土地改良区」と「上野地区土地改良区」 2つの土地改良区の設立へ向け合併予備契約書調印式を実施

去る7月28日、岩戸地区土地改良区統合整備推進協議会（甲斐健興会長：水土里ネット岩戸理事長）と上野地区土地改良区統合整備推進協議会（甲斐昭男会長：水土里ネット浜之瀬理事長）は、西臼杵支庁大会議室にて、関係者約30名出席のもと合併予備契約書調印式を実施した。

この合併は、複数の水土里ネットと用水組合が統合することで、土地改良区運営の効率化と財政基盤の強化を図り、各組織の問題を解決するとともに、農業基盤整備の助成を受けやすくするため平成30年度から協議が進められてきた。今後は、各組織の議決を経て令和4年3月までの合併を目指す。

統合する各組織について（組織名は正式名称で表示）

- 天岩戸土地改良区：岩戸土地改良区、東岸寺土地改良区、上寺土地改良区、日向土地改良区
- 上野地区土地改良区：浜之瀬土地改良区、神之水土地改良区、下野土地改良区、黒口土地改良区、小又川土地改良区、上野用水組合、枳揚水組合、笛原揚水組合

合併予備契約書へ調印する様子



岩戸地区土地改良区統合整備推進協議会（甲斐健興会長）



上野地区土地改良区統合整備推進協議会（甲斐昭男会長）

「水土里ネットへの女性参画推進」について（お知らせ）

国では、男女共同参画社会基本法に基づき「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を定め、すべての女性が輝く令和の社会の実現を推進されています。女性参画は、農業と地域の活性化において重要な役割を果たし、6次産業化等の担い手としても大きく期待されています。

同基本計画には、水土里ネットにおける女性理事登用の成果目標も規定され、このことに基づき「土地改良長期計画」（令和3年3月23日閣議決定）においても同主旨が規定されました。

今後も、水土里ネットが農業農村の更なる発展に貢献する組織として確立し続けるためには、現在の農業を取り巻く環境や社会情勢に適應するとともに、新たな「一歩」を踏み出すことが必要です。



ほ場整備事業推進に向けた地権者説明会の様子
奥村千扶子水土里ネット大島堰理事長(写真奥)

○第5次男女共同参画基本計画における女性の登用・採用に関する成果目標（抜粋）

土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合

- ・女性理事が登用されていない組織数：(2016年度) 3,737/3,900 ⇒ (2025年度) なし
- ・理事に占める女性の割合：(2016年度) 0.6% ⇒ (2025年度) 10%

令和3年度複式簿記導入促進特別研修会が開催される

去る10月29日、全国水土里ネット(二階俊博会長)と水土里ネット宮崎(丸目賢一会長)は、宮崎県土地改良会館4階研修室にて会員及び関係者約100名参加のもと、令和3年度複式簿記導入促進特別研修会を開催した。同研修会は、令和4事業年度から原則、全ての土地改良区を対象に貸借対照表の作成が義務化されることに伴い、複式簿記会計への円滑な移行を支援する目的で開催され、今年が3年目(最終年度)となる。

はじめに、宮下敦典水土里ネット宮崎常務理事が「施設更新積立の創設による組合員の負担増や、複式簿記会計に対する監査スキルの向上など、様々な課題を抱えていることも承知しております。本会としましても、これまで以上に分かり易い支援を行って参りますので、何なりとご相談ください。」と挨拶し、研修会に移った。

参加者は4つの講義を受講し、複式簿記導入に向けた具体的な実務作業について理解を深めた。また、スケジュールの関係上、質疑の時間を設けられなかったが、休憩時間には疑問点等を各水土里ネットが直接講師へ問いかけるなど、有意義な研修会となった。



研修会の様子



金内主査



野崎主任

●研修内容

講師:全国水土里ネット支援部 主任 野崎 敬

講師:全国水土里ネット経理部 主査 金内 琴美

- ①資産評価マニュアル等について
- ②会計細則等の見直し等について

- ③開始貸借対照表について
- ④財務諸表等の作成手順

単式簿記会計から複式簿記会計への移行スケジュール

	(~R2年度まで)	(R3年度)	(R4年度)
事務局	複式簿記移行の具体化 ・複式化への予算を検討 ・使用する会計ソフトの検討 ・勘定科目の検討 ・会計細則等の改定案作成 ・特別会計の見直し 等	・会計ソフト導入 ・勘定科目、諸様式の決定 ・固定資産の把握 等 ・R3年度決算確定 ・開始貸借対照表の作成	・複式簿記会計開始
理事会	・複式簿記化への方針説明・決定 ・複式簿記移行準備のための予算決定(会計ソフト購入費等)等	・次年度予算の決定 ・会計細則案等の改定決定 ・特別会計を廃止し、一般会計に取込む決定 等	
総(代)会	・複式簿記化への方針説明、承認 ・複式簿記移行準備のための予算承認(会計ソフト購入費等)等	・次年度予算の承認 ・会計細則案等の改定承認 ・特別会計を廃止し、一般会計に取込む承認 等	

※いつでもご相談ください※

本会では、複式簿記会計の導入等に向けて、会計指導員による巡回指導のほか、様々なご相談・要望に対する支援もしっかりと行って参りますのでお気軽にお問合せください。

【お問合せ先: 会員支援課 会員支援係 TEL: 0985-24-3361(直通)】